

・近畿地方建設局 ・大阪市建設局
資 料 配 布

配布日時	平成10年9月28日 14時
------	----------------

件 名	VICSによる大阪市駐車場情報提供開始 ― 平成10年10月1日提供開始 ―
-----	---

取 扱 い	_____
-------	-------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 大阪市政記者クラブ
---------	------------------------------------

問い合わせ先	近畿地方建設局 道路部 交通対策課 課長 ^{あさだ} 浅田 又は 補佐 ^{しおみ} 塩見 TEL 06-945-9107 FAX 06-942-6580 大阪市建設局 土木部 交通安全施設課 課長 ^{つじ} 辻 又は 主査 ^{ふくにし} 福西 TEL 06-208-9540 FAX 06-343-1379
--------	--

[報道資料]

平成10年9月28日

近畿地方建設局

大阪市建設局

VICS(道路交通情報通信システム)に 大阪市の駐車場情報を提供開始

大阪市と建設省近畿地方建設局は、大阪市の駐車場案内システムをVICS(道路交通情報通信システム)に接続し、10月1日より大阪市内の公的な駐車場の位置や満車・空車などの情報提供サービスを開始します。

大阪市の都心部では、大量の路上駐車が発生し、交通の流れを大きく阻害するなど社会問題になっています。路上駐車は、交通事故の誘発、緊急時の救急・避難活動の阻害はもちろん経済活動や市民生活に深刻な影響を与えています。

大阪市では、路上駐車対策の一環として、路上駐車や駐車場探しの迷走交通を減らすため、道路沿いに建てた路側案内板による駐車場案内システムを平成元年船場地区でスタートさせ、現在までに市内6地区(約600ha)で駐車場案内を行っています。

このたび、大阪市の駐車場案内システムを建設省近畿地方建設局、財団法人日本道路交通情報センターを介してVICSセンター(道路交通情報通信システムセンター)に接続することにより、既に大阪地区で提供サービスされている道路交通情報である交通障害・交通渋滞などのVICS情報に、新たに駐車場案内の情報が加わることになります。

この駐車場情報は、FM多重放送によりVICS対応のカーナビゲーションシステムに情報提供され、「VICSおおさか(周波数88.1MHz)」の受信エリア内において車載機の地図表示画面上に駐車場の位置や満車・空車の状況が表示されます。

当面は、公的な駐車場23箇所の情報提供を行い、今後、公共駐車場の完成および市内の他地区での駐車場案内システムの整備にあわせ、案内する駐車場を増やしていくほか、駐車場案内システム稼働地区内の民間駐車場の情報提供についても検討していきます。

VICSによる駐車場情報の提供によって、これまでの道路沿いの路側表示板では、駐車場の近くまで行かなければ確認できなかった駐車場の満車・空車の状況が、VICS対応のカーナビゲーションシステムの地図表示画面により、離れた場所から容易に確認することが可能となります。

これにより、自動車駐車場の利用がしやすくなるほか、路上駐車や駐車場探しの迷走交通の減少に大きな効果が期待でき、都心部の道路交通の安全と円滑化が図られるとともに、中心市街地の活性化に寄与するものとなります。

情報提供サービスの内容

- ①対象駐車場：西横堀駐車場・桜橋駐車場など23駐車場
- ②情報提供時間：午前8時～午後8時
- ③提供内容：
 - ・駐車場の満車・空車情報
 - ・駐車場の位置情報

〔添付資料〕

- 添付資料－1 大阪市駐車場案内整備地区とVICSによる情報提供対象駐車場
- 添付資料－2 「VICS車載機」提供イメージ図（地図表示型）
- 添付資料－3 「VICS」パンフレット

[参考資料]

■VICSとは

VICSセンター(道路交通情報通信システムセンター)で編集、処理された渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、VICSに対応したカーナビゲーションなどの車載機に、文字・図形・地図画面で表示するシステムのことです。

■VICS情報の流れ

VICSセンターで編集、処理された道路交通情報は、主に主要幹線道路では光(赤外線)を媒体として、また主に高速道路では電波(準マイクロ波)を媒体として、各道路上に設置されたビーコンから発信されます。このビーコンにより、その場所で必要な道路交通情報の提供が可能となります。

また、広域エリアを対象とした道路交通情報の提供は、FM放送波を利用したFM多重放送により行われます。

今回の駐車場情報は、FM多重放送により提供され、「VICSおおさか」で受信できます。

■VICS情報の表示

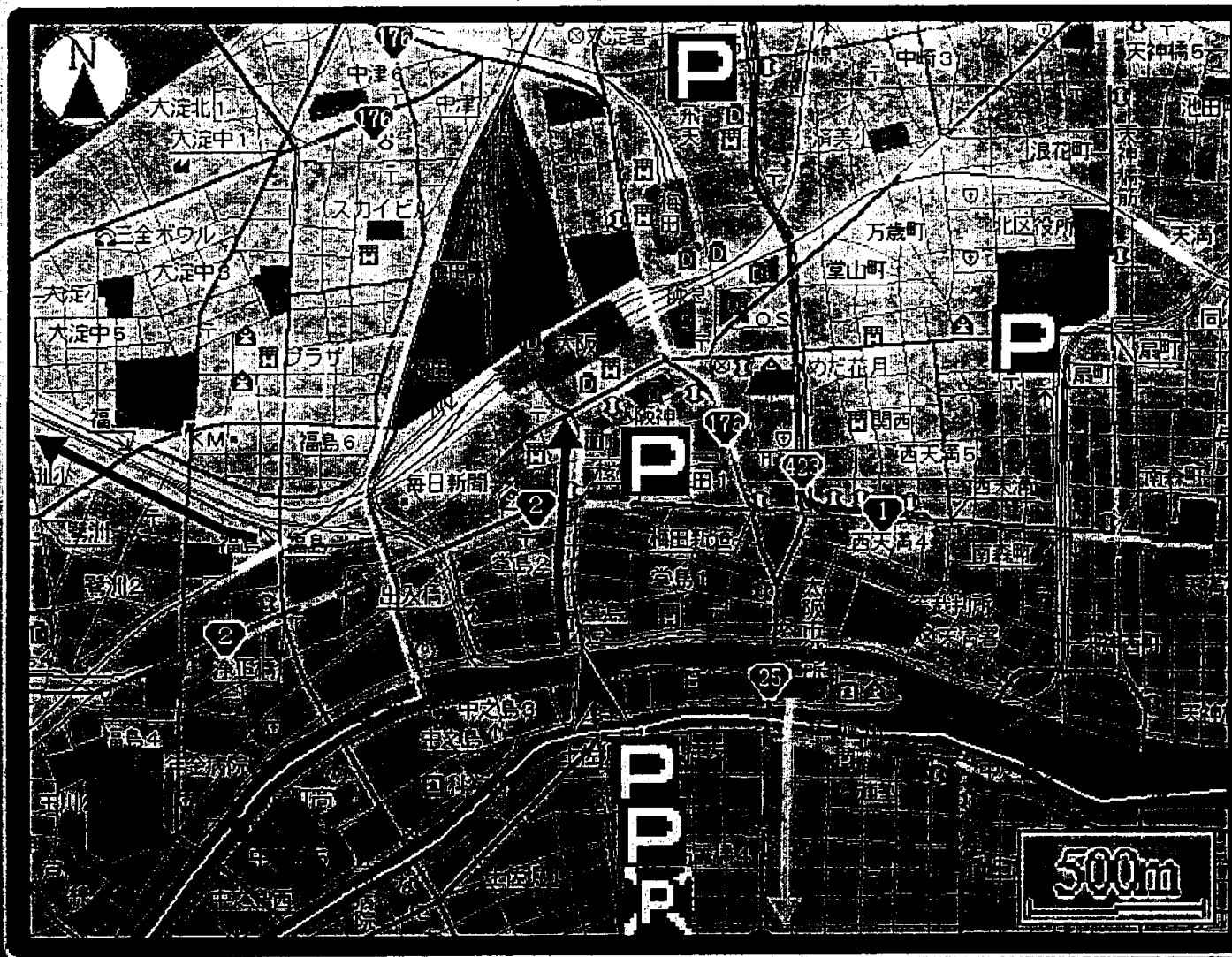
VICSは、①文字表示型、②簡易図形表示型、③地図表示型の3タイプでリアルタイムの情報を提供します。なお、車載機の機能や走行場所により活用できる情報は異なります。

今回の駐車場情報は、地図表示型で表示されます。

VICS情報は、VICS対応のカーナビゲーションとVICS車載機を購入・使用することによって、誰でも無料でご利用いただけます。VICS車載機は、多くのメーカーからドライバーの多様なニーズに応えられるよう種々のタイプが発売されています。

「VICS車載機」提供イメージ図(地図表示型)

添付資料-2



凡例

- P** : 駐車場(満車)
- P** : 駐車場(空車)
- P** : 駐車場(営業終了)

赤矢印 : 渋滞区間

黄矢印 : 混雑区間

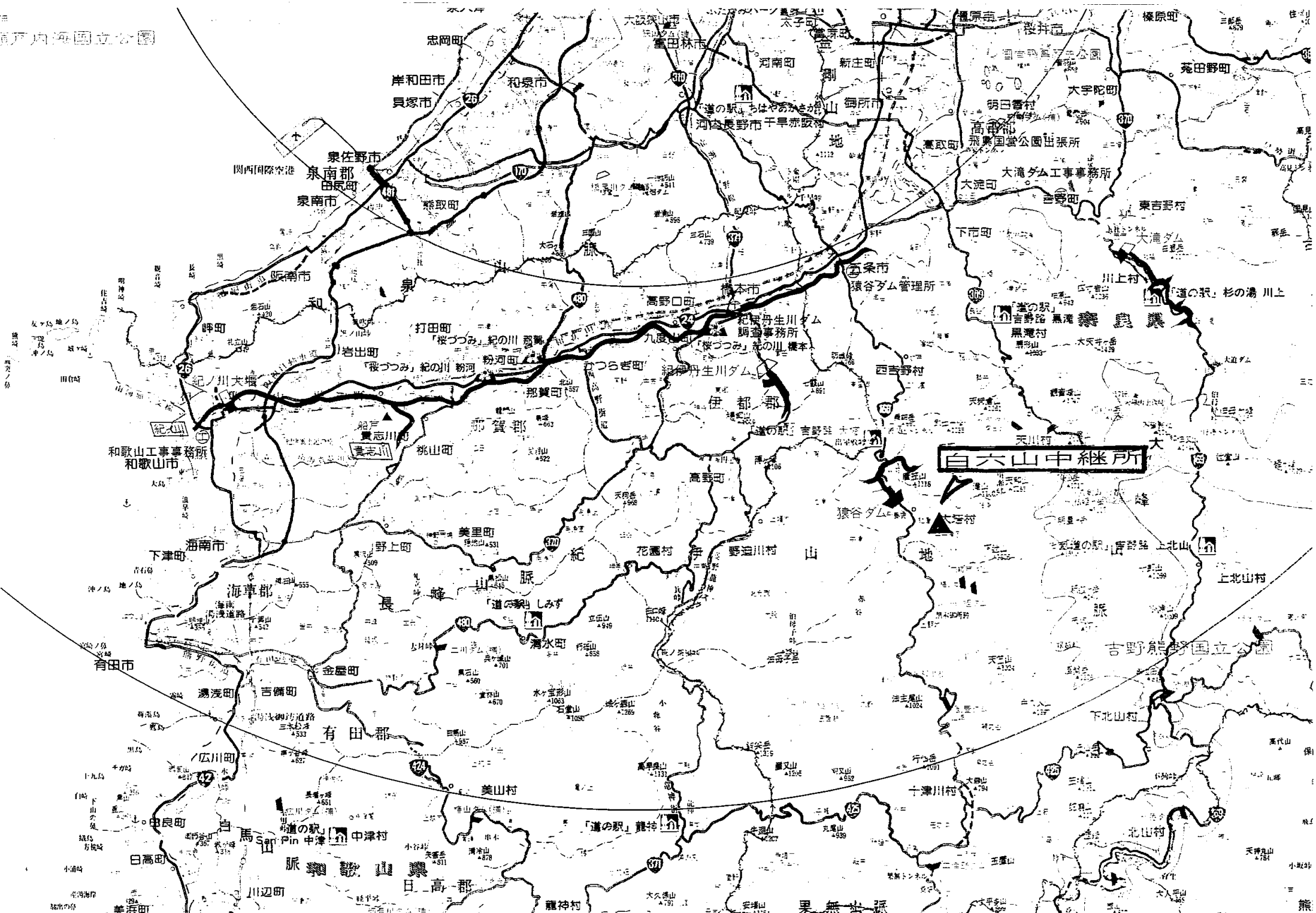
大阪市駐車場案内整備地区とVICSによる情報提供対象駐車場

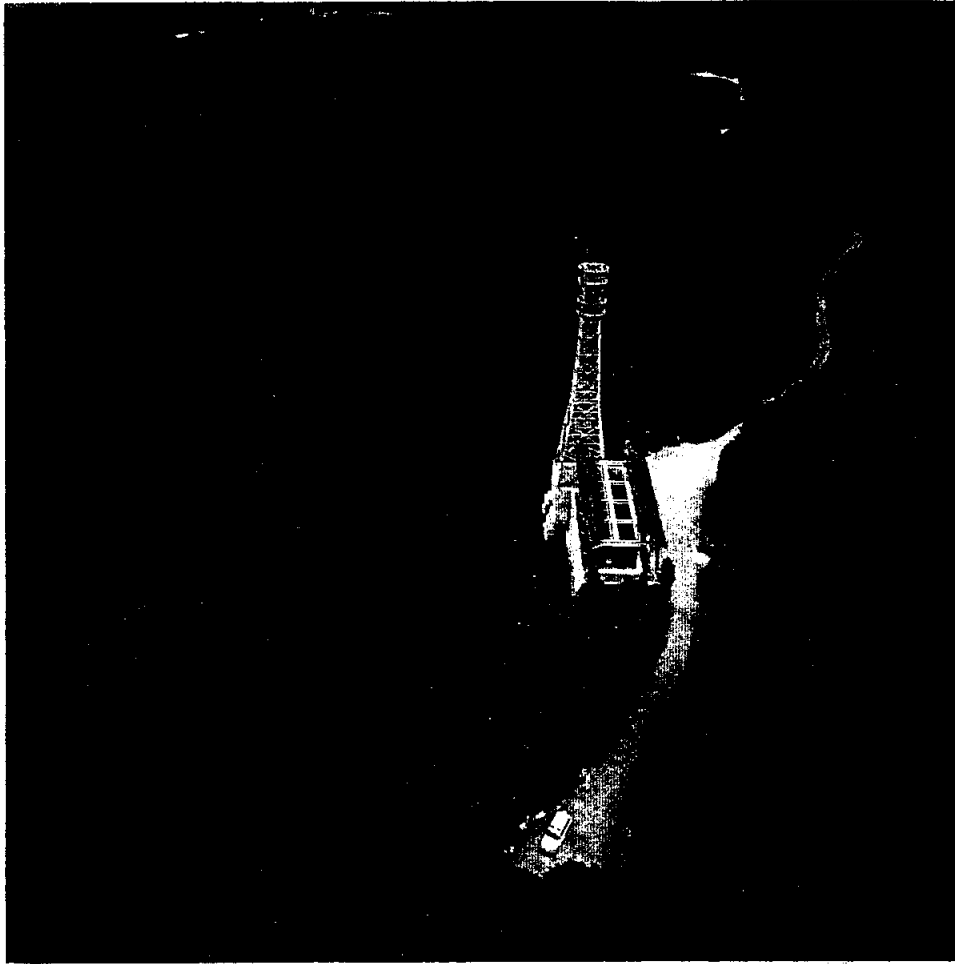


地区名	対象 駐車場数	対象駐車場名
船場地区	12	船場パーキング 西横堀駐車場第0～5ブロック 本町駐車場 西横堀駐車場第7～9ブロック 長堀駐車場
ダイヤモンド地区	2	駅前地下駐車場、桜橋駐車場
扇町地区	2	扇町駐車場、扇町公園駐車場
豊崎地区	1	豊崎駐車場
靱地区	2	靱駐車場、土佐堀駐車場
難波地区	4	西横堀駐車場第10～12ブロック 東長堀駐車場
計	23	

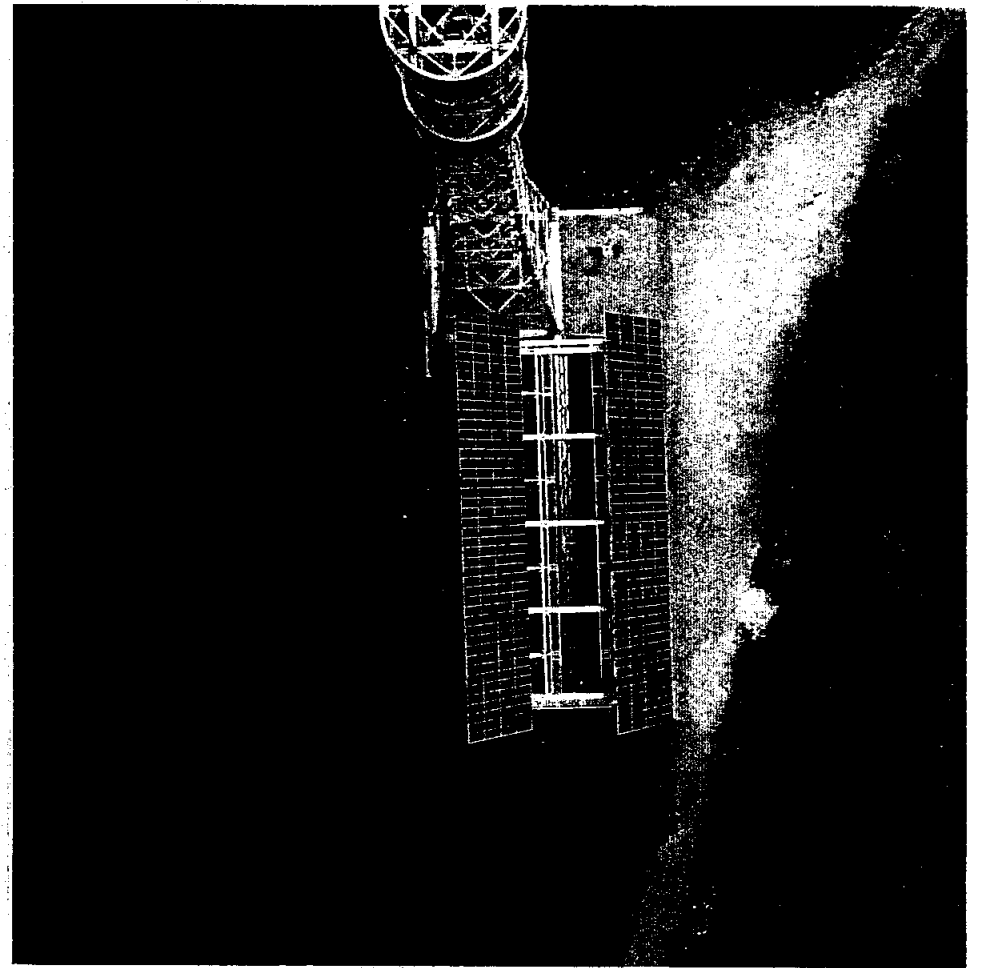
凡 例

: 駐車場案内整備地区





林道沿いに建てられた
白六山中継所

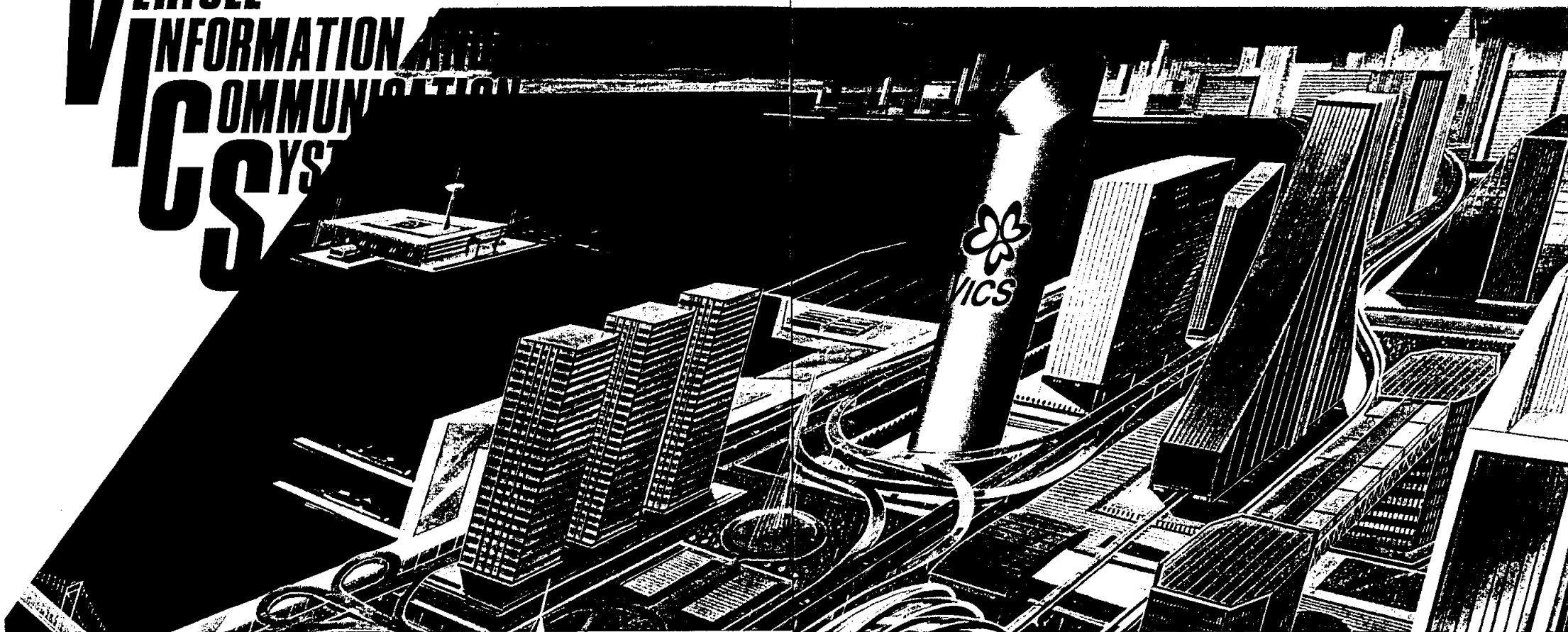


局舎上部に設置された
太陽光発電装置

快適で安全なドライブをサポートする
道路交通情報通信システム-VICS

1996年4月スタート。

VEHICLE
INFORMATION AND
COMMUNICATION
SYSTEM



VICSとは

VICSセンターで編集、処理された渋滞や交通規制などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に、文字・図形で表示する画期的なシステムのことです。

VICSの目的

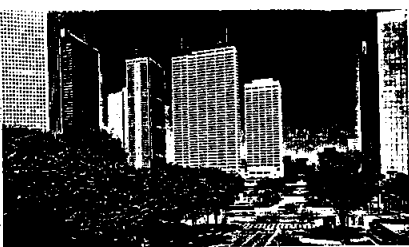
VICSは、ドライバーのニーズに即し利便性を向上させるとともに、輸送時間の短縮によるコストの削減、的確な状況把握による安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全等を可能とし、ひいてはゆとりある国民生活の実現と社会経済の発展に寄与することを目的としています。高速道路や一般道路での渋滞をなくし、交通事故を減らし、道路環境を改善することは、21世紀に向けて今や世界各国が抱える共通のテーマと言えます。

こうした道路交通事情の中、ドライバーの適正なルート選択を促し、快適でスムーズなドライブをサポートするVICSは、交通流を適切に分散させ、道路交通の安全性や円滑性を向上し、さらには道路環境を改善するシステムとして、大きな期待を集めています。

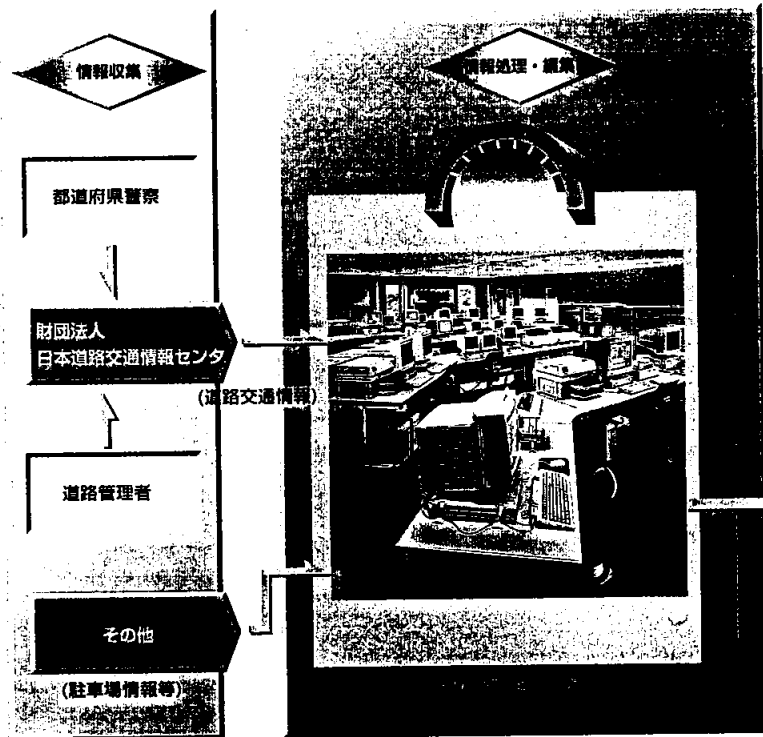
VICSセンターの主な事業

財団法人道路交通情報通信システムセンター（略称：VICSセンター）の主な事業は次のとおりです。

- 道路交通情報の収集、処理、編集及び通信・放送メディアによる提供
- 道路交通情報通信システムに関する調査、研究及び開発
- 道路交通情報通信システムに関する国内外の情報収集及び関係機関・団体との交流

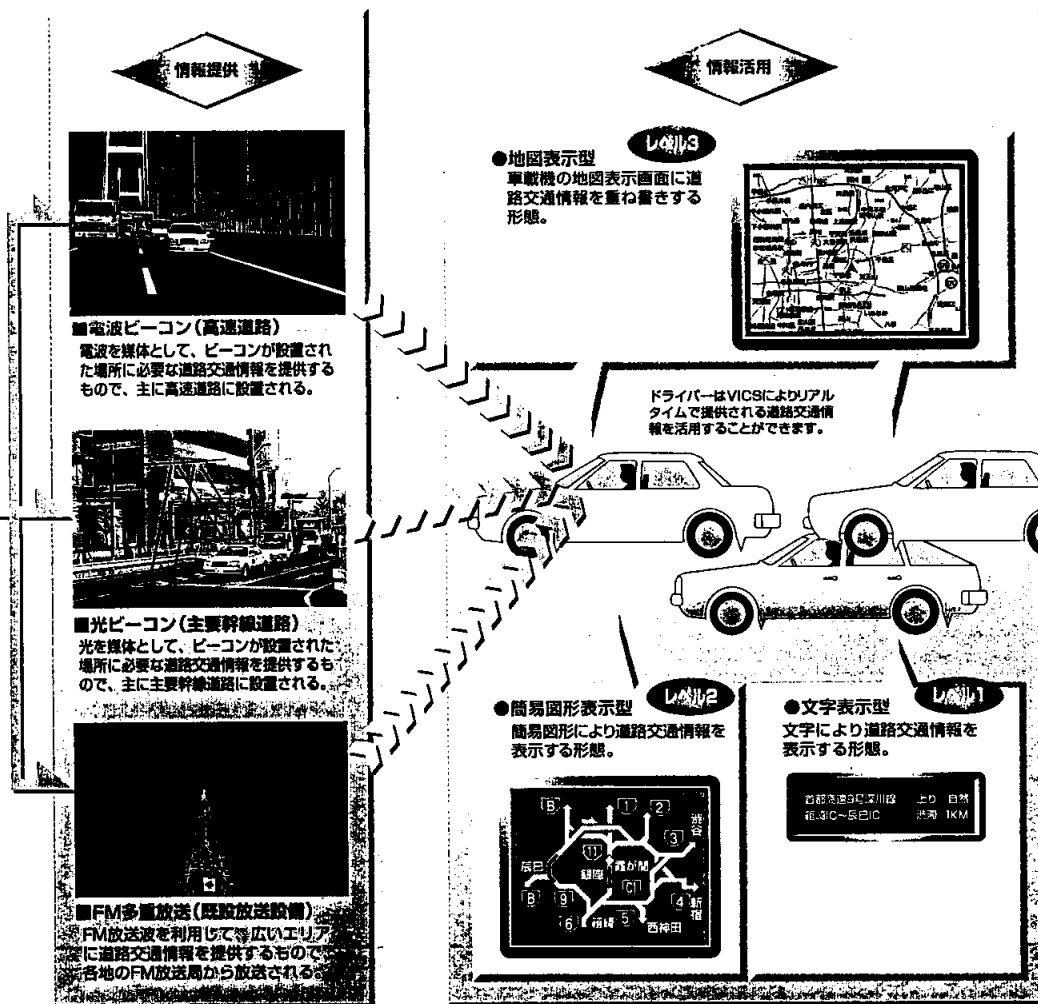


“VICS”の持つ「4つの機能」が より早く、正確に、豊富な情報をお届けします。



情報の流れ

VICSセンターで編集、処理された道路交通情報は、主要幹線道路では光(赤外線)、高速道路では電波(準マイクロ波)を使い、各道路に設置されたビーコンから発信されます。このビーコンにより、その場所に必要な道路交通情報の提供が可能となります。また、広域エリアを対象とした道路交通情報の提供は、FM放送波を利用したFM多重放送により行われます。



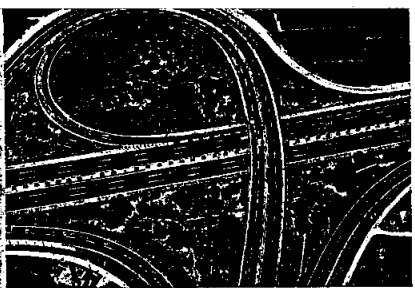
VICSは次の4つの領域の機能により構成されます。

- ① 道路交通情報を体系的に収集する情報収集機能
- ② 収集された情報を処理・編集する情報処理機能
- ③ 処理された情報を車載機に伝送する情報提供機能
- ④ 利用者が車載機を使って情報を利用する情報活用機能

VICSセンターはこの4つの機能を有機的に結合させ、一元的にコントロールする、サービス全体のキーステーションです。

情報内容

- 渋滞情報……渋滞地区、渋滞区間
- 交通障害情報……事故、故障車、路上障害物、工事、作業等
- 所要時間情報……主要地点間の所要時間
- 交通規制情報……通行止め、速度規制、車線規制等の臨時規制とその原因
- 駐車場情報……駐車場、SA・PAの満車・空車



VICS対応車載機によって、 3タイプの多彩な道路交通情報を リアルタイムに活用できます。

●VICSは、①地図表示型、②簡易図形表示型、③文字表示型の3タイプでリアルタイムの情報を提供します。
なお、車載機の機能や走行場所により活用できる情報は異なってきます。

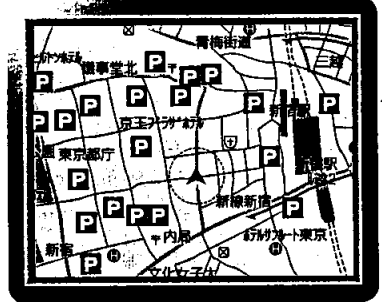
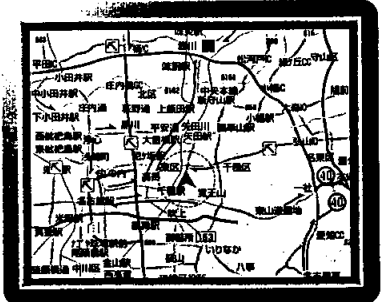
●VICS情報は、VICS対応タイプのカーナビゲーション等の車載機を購入・使用することによって、誰でもご利用いただけます。VICS対応の車載機は、多くのメーカーからドライバーの多様なニーズに応えられるよう種々のタイプが発売されています。

※本画面は、地図表示型のイメージを真
むすためのもので実際のカーナビゲ
ーション画面とは異なります。

地図表示型

●レベル3●

車載機のディスプレイの地図表示画面に、渋滞情報等を重ね書きするタイプです。走行地点と渋滞箇所がひと目でわかるので、刻々と変化する道路交通状況に合わせ、最短の旅行時間あるいは渋滞を避けたコース選択が可能になります。



●リアルタイムな道路交通情報が地図上に表示されます。この情報をもとに渋滞等を避けたルート選択が可能となります。

●駐車場の位置と満車情報がひと目でわかります。

工 工事 40 速度規制 車線規制 事故

P 駐車場 (満) P 駐車場 (空)

■料金と提供時間について

- VICS対応の車載機さえあれば、無料です。
- 情報提供時間帯は、ビーコンでは24時間、FM多重放送では午前6時から翌日の午前1時までです。

簡易図形表示型

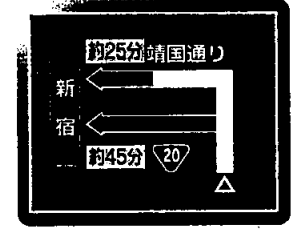
●レベル2●

車載機のディスプレイにVICS情報を簡単な図形で表示するタイプです。道路交通情報がパターン化されたシンプルな図形や文字によって、渋滞箇所や区間旅行時間が表示されるのが特長です。

ビーコン型

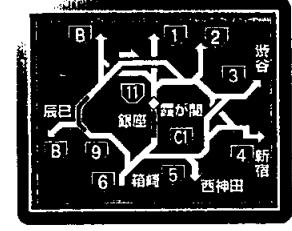
進行方向前方の道路交通状況がひと目でわかり、ルート選択の参考になります。

●一般道路 (東京)



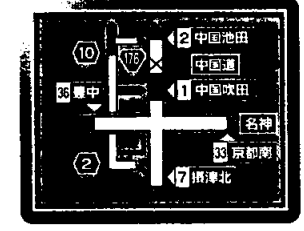
赤：渋滞区間 黄：遅延区間

●都市内高速 (首都高速)



◇ 工事規制

●都市間高速 (近畿自動車道)



× 事故・故障車

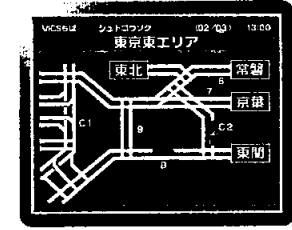
FM多重放送型

広域な道路交通状況がひと目でわかり、広域ルート選択の参考になります。

●一般道路 (神奈川)

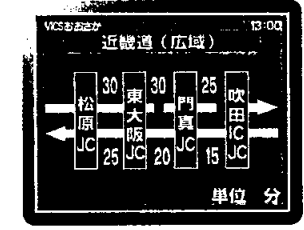


●都市内高速 (首都高速)



■ 事故

●都市間高速 (近畿道)



文字表示型

●レベル1●

車載機のディスプレイにVICS情報を文字で表示するタイプです。刻々と変化する道路交通情報を文字で提供し、ドライバーのルート選択をサポートします。

ビーコン型



FM多重放送型



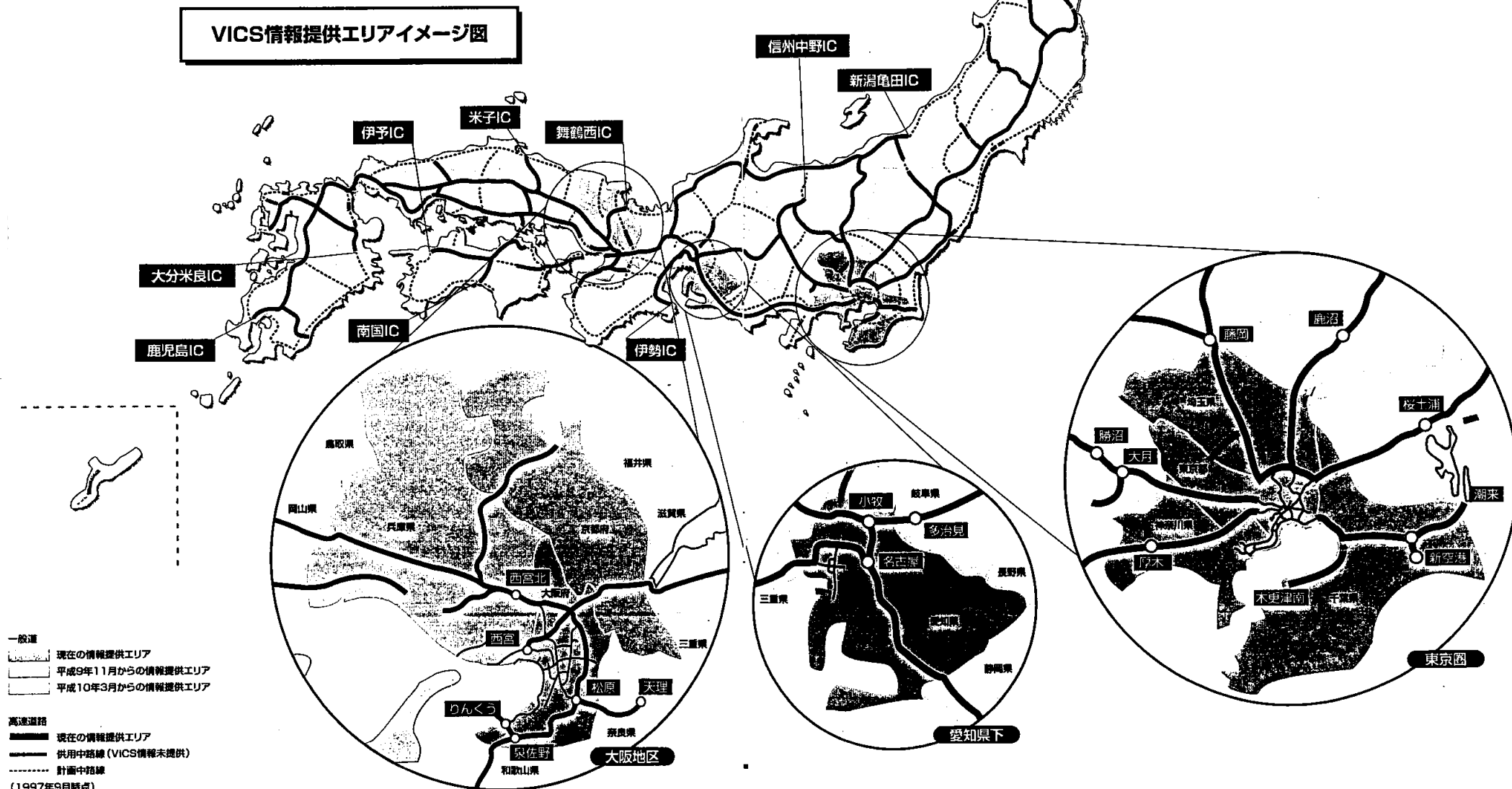


京都府及び兵庫県下へ、そして 全国主要都市へ、広がるVICS

平成8年4月、東京、千葉、埼玉、神奈川の各都県の一般道路及び東京から100km程度までの高速道路並びに東名・名神高速道路全線等をサービスエリアとしてスタートしたVICS情報の提供は、平成8年12月に大阪地区、更に平成9年4月には愛知県の一般道路及び全国的高速道路へと情報提供エリアを拡大しました。

今後、平成9年11月に京都府、平成10年3月には兵庫県、そして平成12年までには全国主要都市の一般道路へと情報提供エリアを拡大する予定です。

VICS情報提供エリアイメージ図



VICSセンターのご案内

VICSのロゴマーク



3つのハートは「生きた情報・ゆとりのある心・人と車の安全」を表し、「ゆとりのある快適で安全なドライビング」を願うものです。

ごあいさつ

道路交通は、国民生活及び経済活動を支える社会基盤として重要な役割を果たしています。

しかし、その一方で交通事故の増加や渋滞の慢性化は、目的地に安全かつ快適に到着するという車本来の機能の低下をもたらすとともに、深刻な社会問題となっており、個々のドライバーに対する道路交通情報の的確な提供が一層強く求められています。

また、21世紀に向けた高度情報通信社会の構築に向けて、道路・交通・車両の分野においても、道路交通情報を直接かつリアルタイムに車載装置に提供し、ドライバーが的確に情報の活用を行うことができる道路と車を一体とした高度な道路交通情報通信システムの推進が望まれています。

財団法人道路交通情報通信システムセンターは、この要請に応えるため、ドライバーのニーズに即した道路交通情報を収集、処理及び編集して、車載機との通信により個々の車両に提供する道路交通情報通信システムを全国規模で展開いたします。今後とも、安全で快適な道路交環境の確立に寄与すべく、努力してまいりますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

財団法人 道路交通情報通信システムセンター
理事長 亀井 正夫



VICSセンターがある日本プレスセンタービル

◎ VICSセンターの経緯

- '90/3: 警察庁、郵政省、建設省の3省庁による「VICS連絡協議会」発足
- '91/10: 「VICS推進協議会」発足、203法人・団体が参画
- '93/11: VICS公開デモンストレーション実験実施
- '95/7: (財)道路交通情報通信システムセンター発足
- '95/11: 「第2回ITS世界会議'95横浜」にてデモンストレーション実施
- '96/4: 情報提供サービスの開始
- '96/12: 大阪地区情報提供開始
- '97/4: 愛知県情報提供開始
全国高速道路情報提供開始
- '97/11: 京都府情報提供開始予定
- '98/3: 兵庫県情報提供開始予定



■ VICS情報提供開始の瞬間

◎ VICSセンターシステム

VICSセンターの主な事業の一つに、VICS情報を提供するための、情報収集、処理・編集及び提供に関する事業があります。その事業を具体的に実現するのがVICSセンター内に設置された「VICSセンターシステム」です。

VICSセンターシステムは、(財)日本道路交通情報センターと高速デジタル専用回線で結ばれ、そこから受信した様々な道路交通情報を処理・編集します。そして処理・編集された情報は、エリア別のメディアセンターとFM放送局に送信され、各メディア（電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送）により直接ドライバーに提供されます。

また、センターシステムは安定した運営を図るために二重化され、24時間体制で稼働されています。



■ 24時間体制で運用中の東京センターシステム

◎ プレゼンテーション

見学者が現在流れているVICS情報を体感できるように、VICSセンター内にプレゼンテーションルームを設置しています。

ここでは、VICS情報を67インチ大型ディスプレイに表示してプレゼンテーションを行っています。この表示端末では情報源からの受信情報をすべて使用しているため、現在の情報提供エリアであれば、どこでも道路交通情報を地図に重ね書きして表示することができます。

表示する情報の種類は、①渋滞、事故、工事・規制などの状況、②区間/リンク旅行時間等です。



■ VICSセンター内のプレゼンテーションルーム

システム構成

